

※以下、ネタバレを含みますので、必ずゲーム終了後にお読みください。

拘束されたあなたが、蓮三ではない場合、以下を読み上げてください。

「自分は絶対、母さんを殺したりしない!!」 迫って来るみんなへ、必死に抵抗した。

すると、兄弟姉妹(きょうだい)の中から、「もう、やめよう……」という声がした。

先ほど声を発した人物が、続けてこう言った。

「みんな間違ってる……母さんを殺したのは——」

※蓮三へエピソードを渡し、以下「拘束されたあなたが、蓮三だった場合～」を読んでもらう。

拘束されたあなたが、蓮三だった場合、以下を読み上げてください。

ああ。そうさ……俺が犯人さ。

理由はそう……12年前。父さんと母さんが廊下でケンカをしていた。その時の母さんは泣いていた。

自分の部屋に戻ると、しばらくして三階のテラスから、父さんの声が聞こえた。

「泣いたって何も解決しないだろ!!」

その直後、悲鳴と共に窓の外を落下していく父さんと、目が合った。

俺はこう思った。母さんが、父さんを突き落としたのかもしれないと。

昨日の夜、曲の権利を手放そうとしている母さんを止めたくて、22時に屋敷を訪れた。

理由を聞くと、母さんは急に「権利は放棄して、誰でも使える曲にするの」と言い出した!

そして「もう12年……忘れなさい。あなたたちには将来があるじゃない。前だけを向いて歩いてほしいの」と

言ったんだ。その瞬間俺は、怒りがわいた。作曲家としての父さんを尊敬していたから、許せなかった。

「父さんは、母さんに将来を絶たれたんだ!!」と、思わず灰皿で頭を殴ってしまった……。

……そう言えば母さんは、最後に「トランクを……」と、言い残して死んだ。あの言葉は何だったんだろう。

※以下、一海役のプレイヤー(もしくはGM)が読み上げてください。

母さんは、書斎のトランクの中身を知って欲しかったにちがいない。開くには暗証番号が必要になる。

①まず、溪五が暗証番号を教えてください。

②それが正しい番号か確認します。もし違っていたら、一海がユメから教えられた正しい番号を教えてください。正しい番号は「13542」です。

開かれた中に入っていたのは、手紙と、「明日へのレクイエム」の楽譜……母さんの秘密がそこにあった。

手紙には、こう書かれていた。

「私には紗季(さき)というバイオリニストの親友がいた。かつて紗季と行人は付き合っていて、紗季のお腹には子供が宿っていた。でも紗季は、交通事故にあって亡くなったの。幸いなことにお腹の子供だけは助かった。このままでは母親のいない子になってしまう。そう思った私は行人と結婚し、二人で子供を育てていく決心をした。その子供の名が……一海。

やがて私と行人の愛情が深まり、あなたたち兄弟姉妹(きょうだい)が産まれて行ったの……。

もう一つの秘密。トランクにある「明日へのレクイエム」の楽譜には、私が作曲家として名前を書いている。

行人の死後に発表された曲は、すべて私が書いていたの。どの曲も行人のことを想って書いた曲……。

私は胸の病気のせいで、もう長くはないと医者に言われた。

死後、曲の権利はすべて放棄して、誰でも自由に使える曲にするわ。残った財産は、あなたたちで均等に分けて欲しい。……私はもうすぐ、行人のもとへ旅立ちます。

だから「明日へのレクイエム」を、私を送る時に流して欲しいの。行人と私が生きた証としてね。

あなたたちはこれから、自分の人生の音色を奏でなさい。そこに決められた楽譜は無いのだから……」

いつの間にか空は澄んで、晴れ渡っていた。 遠くからパトカーのサイレンの音が聞こえてくる——。《終》